

1 使用するプリント コク×スク レベル 3-1 具体と抽象の理解を深める

2 単元の目標

- (1) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕(2) ア  
(2) 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫  
することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A 話すこと・聞くこと(1)イ

3 学習の流れ

【①導入】日常生活で目にする具体と抽象の関係について例を挙げ、関係性を考えさせる。



「果物」と「りんご」という言葉を比べると、「りんご」の方が具体的ですね。「果物」は「りんご」だけでなく「みかん」や「バナナ」なども含まれる抽象的な言葉です。日常生活にはこうした具体と抽象の関係がたくさんあります。今日は、この具体と抽象の関係について、理解を深めていきましょう。

【②展開】個人で問題を解く（15分程度）。その後、全員で答え合わせを行う。

★10分ほどが経過したら、立ち歩いて話し合ったり、わからない部分を話し合ったりするよう助言する。

★考え方がわからない生徒には挙手をさせ、適宜助言を行う。

〈問1 助言の参考〉



ここでは、タクミの発言の中の言葉に注目し、具体と抽象の関係を捉えることが必要です。どの言葉に注目するとよいですか。

タクミは「性能を比べてみると」と言っています。

そしてB社の方が「重量が軽い」「バッテリーの持続時間が長い」と言っています。



そうですね。タクミはそれぞれの長所を具体的に述べていますね。「重量が軽い」「バッテリーの持続時間が長い」ことが具体例、「性能」はそれらの具体例を抽象的にまとめた言葉といえます。

〈問2 助言の参考〉



タクミとユウキのそれぞれの結論は何でしょうか。発言のどの部分で述べられているかを捉えることが重要です。

タクミの結論は「B社にしようと思っている」で、発言の最初にあります。

ユウキも結論は「B社にする」ですが、発言の最後にあります。



そうですね。そして、それぞれの話の展開にはどのような効果があるか考えてみましょう。

〈問3 助言の参考〉



問2から、二人のどちらの話の展開の仕方を参考にするか選びましょう。  
選んだ話の展開の仕方の特徴を踏まえて、条件に合わせて実際に話すように書きましょう。

【③まとめ】 今日学習した内容を振り返る。



今日の学習では、具体と抽象の関係について学びました。具体と抽象の関係を捉えるためにはどのようなことに注目するとよいですか。

言葉に注目して、具体的な言葉はどんなもので、それを抽象化するとどんな言葉で言い表すことができるかを考えるとよいと思います。

伝えたいこととその根拠の关系到注目することも大切だと思います。



具体と抽象の关系は生活の様々な場面で活用することができます。また説明的な文章を読むときは、筆者の主張（抽象）と、主張を支える事例（具体）などを読み取ることが大切です。今日学習したことを今後も使えるように覚えておきましょう。

4 指導のポイント

- 【①導入】では、いくつかの具体と抽象の関係を例示したり、具体と抽象の関係を図にしながら説明したり、考えさせたりすることも考えられる。
- 【②展開】の問1の場面では、タクミの発言を板書したり電子黒板で提示したりして、言葉どうしの具体と抽象の関係を丸で囲んだり、線で結んだりすることで視覚化して確かめることも考えられる。
- 【②展開】の問2の場面では、それぞれの結論だけでなく、それ以外の部分がどのような役割で、どのような関係になっているかを確かめながら、「話の展開の仕方」について確認することも考えられる。（例：タクミは、「結論」→「自分のニーズ」→「比較（重量）」→「比較（バッテリーの持続時間）」）。
- 【②展開】の問3の場面では、考えたものを互いに読み合う場面を設定することも考えられる。

5 ほかに考えられる使用方法

- 話すことの単元の最後に「コク×スク レベル3-1」を単元テストとして使用し、定着度を測るために使用することもできる。その際は、【②展開】だけを取り上げて20分程度の解説の時間を設けるとよい。
- 「コク×スク レベル3-1」を単元の導入として使用し、具体と抽象の関係や話の展開の仕方について理解を深めるために使用することもできる。導入として使用したあとの授業展開例としては次のものが考えられる。

自分の思いを伝えるスピーチ

……自分が伝えたいことを、根拠を集めてスピーチする。その際、集めた情報や自分の主張と根拠の関係などに注目し、「コク×スク レベル3-1」で学んだことを生かして、具体と抽象の関係を意識しながら話の展開を考える。